

山形学院報

題字及び「愛」の字は故佐藤利吉先生です

2012年度主題聖句 『あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である。』

[新約聖書・マタイによる福音書5章13～14節]

2012年度行動目標 「生徒とともに生き、学び、成長する」
～生徒一人ひとりを大切に～学校法人山形学院
山形学院高等学校
山形学院 柏葉会同窓会

〒990-0039 山形市香澄町3-10-8

TEL023-641-4116

FAX023-641-4121

山形学院のホームページの紹介

<http://www.y-gakuin.ac.jp/>

E-mail: info@y-gakuin.ac.jp



キリスト教学校として46年

校長 北垣 俊一

山形学院は「建学の精神」をキリスト教信仰、聖書の教えに基づく教育を進めている高校です。山形学院寄付行為第3条に次のように書き記しています。

「この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、福音主義キリスト教の信仰に基づいた教育を行うことにより、神を中心とした人生観をもって、真理を追求し、すべての人と社会に対し愛と奉仕の業を行い、人類の福祉と世界の平和に貢献する人材を育成するため、学校教育を行うことを目的とする。」

文中の「福音主義キリスト教」とは、プロテスタント(新教)のキリスト教を指しています。16世紀、ドイツの宗教改革者マルティン・ルターによって興された「ただ聖書のみ、ただ信仰のみ」「紙の前に人はすべて平等」「万人司祭」を基とする新しいキリスト教のあり方を旧来のカトリック(旧教)に対してプロテスタントは「福音主義」と呼んでいます。

1966年(昭和41年)、本校は福音主義のキリスト教に基づく「キリスト教学校」に転換しました。そして建学の精神を明確にしたのでした。以来今日まで46年間、キリスト教学校として山形の地にその歩みを刻んできました。1985年(昭和50年)にはプロテスタント系の学校組織である「キリスト教学校教育同盟(参加校98学校法人)」に加盟しています。明治期にできた多くのキリスト教学校が主にアメリカからのキリスト教宣

教師(その団体)によって創設されました。宣教師のことを「ミッシヨナリー」と呼びました。キリスト教の布教宗教教育を積極的に進める学校でもあり、経営資金の支援もありました。それも時代と共に変化しました。山形学院は宣教師、その派遣団体とも関係なく、キリスト教学校の道を選んだのです。以来、今日まで46年間キリスト教学校としての歴史を形作ってきました。近年、本校入学者の保護者アンケートでは、多くの保護者が「山形学院はキリスト教に基づいた教育を行う(礼拝を通して感謝の心や思いやりを大事にしている)学校」「礼拝から始まり、心身ともに成長し、専門の学科で学ぶことのできる学校」とであると理解し、「生徒一人ひとりの気持を大切に、生徒の個性を尊重し、人間性を育てる学校」とであるという認識をされている保護者が多いのです。

本校はキリスト教学校として、毎朝、生徒、教職員が共に全校礼拝を守っています。3年間、聖書の授業があり、生徒はキリスト教、聖書、人間の生き方について学びますが、キリスト教信仰を強要することはありません。日本国憲法の「信教の自由」を尊重し、キリスト教を受容するかどうかは、生徒個人の自由意志です。キリスト教信仰はともかくとして、3年間のキリスト教教育を通して、多くの生徒たちは「自分を愛するように隣人を愛する」という聖書の根本の教えを心にしっかり刻んで本校を巣立っていき

ます。

キリスト教学校である山形学院に入学して、生徒は礼拝や聖書の授業等に触れて、どう感じ、どう思っているのでしょうか。現1年生の感想をいくつか紹介しましょう。

男子生徒「山形学院に来るまでキリスト教とは全く縁がありませんでしたが、礼拝や授業などを通して、イエス・キリストとはどんな人なのか、キリスト教とはどんな宗教なのか学んでいくうちに、もっと聖書を読みたい、もっと勉強したいという意欲が芽生えてきました。山形学院に来なかったら、私は聖書、イエス・キリストが素晴らしいのかを知ることができなかったと思います。

ある女生徒はこんな感想を書いています。「朝の礼拝で自分の心を落ち着かせることができます。毎日の生活の中で罪悪感を感じる日もあり、その時、キリスト教の教えが自分の罪を反省し、心を改めることができるようになりました。」別の女生徒「私はこの学校がキリスト教学校であることに引かれて入学しました。もともとキリスト教に興味があり、友達とは異なる学校生活を送りたかったからです。この学校では礼拝があったり、聖書の授業があったり、めずらしい体験ができています。めんどろだと感じる日もありますが、基本的に楽しい。これからあるクリスマスもどんなことをするのか楽しみです。この高校に入学できて本当に良かったです。」

1966年以来、46年間、キリスト教学校としての校風を山形の地に育んできました。その歴史と伝統を重んじつつ、これからも建学の精神に則った特色ある教育を進め、生徒たちを豊かに育てていきます。

スイーツ甲子園



食物調理科
3年7組 山 川 亜 純

皆さんは甲子園といわれるとどのようなことが浮かびますか？ 大抵の人は野球だと思いますが、私達にとってはお菓子の方でした。

私が出場した『貝印全国高校生スイーツ甲子園』は、テーマ「高校生活」に沿ったオリジナルのお菓子を作る大会で、全国大会は、フジテレビ湾岸スタジオで行われました。大会では、時間内に作品を作ることが出来たので良かったです。

また、パティシエの方々から評価していただいたことなど、とても思い出に残りました。

私達の
思い

第59回NHK高校放送コンテスト 第36回全国高等学校総合文化祭

放送部



偉大な背中を追いつ

総合普通科
3年1組 茨 木 隼 人

私には工藤斎州さんという偉大な先輩がいる。彼は全国大会決勝出場という偉業を果たし、私に朗読の基礎を教えた。私はその偉大な背中を追いつてきた。

先輩は後輩にとって偉大な存在でなくてはならないと思う。道を作り、様々なことを教え、厳しくもあり優しい存在。私は後輩にとってそんな存在であれたらいいと思う。

〈心に響いた聖句〉

「忍耐について」

教諭(理理科)

及 川 武



「わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」(「ローマの信徒への手紙」5章3-4節)

この箇所は、私の好きな聖句の一つです。難しいことにどうしても立ち向かわなければならない時に、この聖句を思い出すことがあります。そして、この聖句のおかげで困難な時でもその先に見える希望に期待しながら取り組むことができたという経験が何度かありました。

またこの御言葉から子どものしつけについても考えることがあります。

私には4歳になる男の子がいますが、ゼロから色々教えていくのはやはり大変です。しつこく教えるのも「忍耐」のいる作業ですが、小さな子どもにこそ、「忍耐」をしっかり教えていかなければならないと感じている今日この頃です。

同窓会

山形市議会議員になりました



山形市議会議員
中 野 信 吾

昭和53年山形学院普通科卒業後、城西大学経済学部に進み、昭和57年卒業後就農、施設野菜の専業農家でした。

農業の傍ら、山形県農業青年クラブ連絡協議会会長や、全国の副会長、山形市農業委員などの役職を通し貴重な経験も出来ました。

平成19年4月の山形市議会議員選挙に初当選、産業文教委員会に所属し商工観光部、農林部、教育委員会を所管する委員会に入り委員会副委員長、議会運営委員、

山形市環境審議会委員などを歴任。

平成23年4月、2回目の選挙に当選、現在、市議会厚生委員会委員長で、市民生活部、福祉推進部、子育て推進部、市立病院済生館を所管する委員会です。

また、山形市、上山市、山辺町、中山町の2市2町で作る清掃工場の建設、運営を審議する、山形広域環境事務組合議会議員であり市町民の為に速やかな新清掃工場建設を目指しています。

★新任紹介★

山形学院で教鞭を執って



「挑戦と学び合い」

食物調理科常勤講師

塩 野 衣 里

大学卒業後、都内の保育園・介護食品メーカーにて勤務していました。

今までとは全く違う環境、教員という仕事で分からない事も沢山ありますが、自分の持っている経験・知識を生徒に伝え、生徒と共に沢山の事に挑戦し学び合い成長していきたいです!!よろしくお願い致します。

一日労働局長を務め、求人拡大を呼びかけた



総合普通科 3年2組 深 瀬 朱 翔

9月7日(金)、山形労働局の局長に任命。求人の拡大、とりわけ高校生対象のキャンペーンのため、市内をまわり、声がけ、名刺交換、ポスター掲示のお願いなどをした。深瀬さんは「重大な任務を負かされ緊張しました」と帰校して報告。自身は志望する山形市内の事業所に内定。



「希望は神様にある」

聖書科非常勤講師
日本キリスト教団天童教会牧師

原 裕

「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。」(コヘレトの言葉2:1) 人生は神様に導かれている。聖書科の非常勤講師を託された天のわらべの天童教会、心豊かにはらゆたかと申します。よろしくお願いします。

先日、試験の採点をしていて、生徒たちが聖書と向き合い、迷い悩む人生と本気で懸命に真摯に奮闘努力している健気

な姿勢に、思わず心が熱くなりました。眩しく輝く彼らの素直な心に寄り添う幸いを実感させられました。

かつて5分間だけ、先生になりたいと思ったことがあります。昼間働いて夜間の大学を留年して落ち込んでいた時、「金八先生」を見ていて、その気になりかけました。ところが、紆余曲折の歳月の中で忘れてしまいました。

あれから30年。こっちが忘れて捨てて諦めた思いを、神様が覚えて拾って繋げて待っていたとは、何とも申し訳ない話です。私たちが絶望だと思う最後、最悪、最低の今も、やがては神様の希望としての最初、最良、最高になっていく人生の不思議さを聖書を通して、生徒の心に熱く届けたいと祈り願って取り組んでいます。

「山形学院21世紀教育振興募金」のお願い

学院の

教育充実のために 募金にご協力を。

この募金は、生徒の奨学資金、公開講座、その他の教育活動を支えていくために設けております。学校内外にご芳志、ご協力、衷心より感謝申し上げます。

この振興募金から2つの奨学金制度を継続しています。また、公開講座として、料理教室、ハンゲル学習会を開くことができます。

「21世紀教育振興募金」の充実は、本校の教育活動を一層拡大・充実するものとなります。是非今後とも学校内外の皆様のご協力をお願い申し上げます。

I 山形学院学業奨励奨学金制度

対 象・2年在籍の生徒で、学校生活、学業に努力し、人物に優れた者。

各学科1名6+3名。

奨学金・10万円(返済義務なし)

II 山形学院貸与奨学金制度

対 象・本学院に在籍する生徒で、各家庭の事情により経済的な協力を必要とする者。

奨学金・貸与額に段階あり、無利子で貸与。

卒業後に返済の義務を負う。

献金者ご芳名 (2011年7月1日～2012年8月30日)

■「21世紀教育振興募金」

・日本基督教団新庄本町教会・2011年度卒業生 代表 酒井宏・盛田真樹・西村潤也
・佐藤辰也・住吉正敏・齊藤篤・後藤正彦・石川はるみ・笹原誠・高橋千恵子
・渡邊理恵・山口勇・稲毛保明・横尾修二・大山嘉和・小松由美子・佐藤潤・高橋勝
・小関昌仁・丹野守・二階堂博司・武田美紀・森谷浩・椎名美月・荒井利弘
・斎藤啓二・早坂幸一・三澤里志・佐藤充・佐藤光男・小峰徹・庄司由香・飯野憲一
・相澤幸義・富樫善雄・海和実・佐藤寿宏・和田幸治・松井恭司・深瀬吉彦
・矢口由美・五十嵐美貴彦・佐藤徹・木村周司・北垣俊一・森智海・高橋玲奈
・花輪美恵・菖蒲利枝子・渡辺裕志・加藤勝照・富樫義治・中島正博・木俣和子
・佐藤光広・佐藤一彦・遠藤健・鈴木勤・市川秀明・高橋重美・田村静・佐藤有希子
・井上督・小泉美智行・高柳茂治・工藤正志・菱沼清広・羽田久美子・水戸部秀昭

■「21世紀学校維持募金」

・株式会社大沼・山形国際ホテル・佐藤光市・柳谷 明・有限会社武田カバン店
・株式会社カスカワスポーツ・粕川治子・有限会社JOB保険

山形学院財務報告

1. 2011年度決算 その概況を報告いたします。

〈資金収支計算〉その主な内容を報告いたします。

資金収支計算表

2011年4月1日から2012年3月31日まで

■収入の部 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	415,125,700	415,325,700	△ 200,000
手数料収入	16,828,000	16,894,270	△ 66,270
寄付金収入	30,190,000	30,632,540	△ 442,540
補助金収入	277,991,860	277,991,860	0
国庫補助金収入	1,349,000	1,349,000	0
地方公共団体補助金収入	276,642,860	276,642,860	0
資産運用収入	2,842,000	2,850,396	△ 8,396
雑 収 入	2,092,000	2,184,426	△ 92,426
前受金収入	64,500,000	64,940,000	△ 440,000
その他の収入	226,527,193	222,754,058	3,773,135
資金収入調整勘定	△ 59,235,000	△ 60,232,432	967,432
前年度繰越支払資金	143,079,985	143,079,985	0
収入の部合計	1,119,941,738	1,116,420,803	3,520,935

■支出の部

人件費支出	454,512,000	453,993,765	518,235
教育研究経費支出	113,817,317	110,439,812	3,377,505
管理経費支出	20,837,060	20,412,943	424,117
借入金等利息支出	29,000,000	28,833,869	166,131
借入金等返済支出	93,016,000	93,016,000	0
施設関係支出	2,970,000	2,398,750	571,250
資産運用支出	163,206	163,206	0
その他の支出	238,345,015	233,964,759	4,380,256
〔予備費〕	(2,048,446)		7,951,554
資金支出調整勘定	△ 16,000,000	△ 16,114,503	114,503
次年度繰越支払資金	175,329,586	189,312,202	△ 13,982,616
支出の部合計	1,119,941,738	1,116,420,803	3,520,935

〈消費収支計算〉その主な内容を報告いたします。

消費収支計算表

2011年4月1日から2012年3月31日まで

■収入の部 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	415,125,700	415,325,700	△ 200,000
手 数 料	16,828,000	16,894,270	△ 66,270
寄 付 金	31,211,000	31,653,258	△ 442,258
補 助 金	277,991,860	277,991,860	0
国庫補助金	1,349,000	1,349,000	0
地方公共団体補助金	276,642,860	276,642,860	0
資産運用収入	2,842,000	2,850,396	△ 8,396
雑 収 入	1,420,000	1,512,426	△ 92,426
帰属 収入 合計	745,418,560	746,227,910	△ 809,350
基本金組入額合計	△ 75,000,000	△ 73,201,672	△ 1,798,328
消費収入の部合計	670,418,560	673,026,238	△ 2,607,678

■支出の部

人 件 費	453,840,000	453,321,765	518,235
教育研究経費	201,449,768	198,072,263	3,377,505
管理経費	23,529,126	22,516,045	1,013,081
借入金等利息	29,000,000	28,833,869	166,131
徴収不能額	148,605	148,605	0
〔予備費〕	(620,083)		9,379,917
消費支出の部合計	717,347,416	702,892,547	14,454,869
当年度消費支出超過額	△ 46,928,856	△ 29,866,309	
前年度繰越消費支出超過額	△ 1,058,361,021	△ 1,058,361,021	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,105,289,877	△ 1,088,227,330	

2. 2012年度予算 その概況を報告いたします。

〈資金収支計算〉その主な内容を報告いたします。

資金収支予算書 (当初)

2011年4月1日から2012年3月31日まで

■収入の部 (単位 円)			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	425,309,200	415,125,700	10,183,500
手数料収入	16,450,000	16,828,000	△ 378,000
寄付金収入	28,410,000	30,190,000	△ 1,780,000
補助金収入	280,096,400	277,991,860	2,104,540
国庫補助金収入	1,249,000	1,349,000	△ 100,000
地方公共団体補助金収入	278,847,400	276,642,860	2,204,540
資産運用収入	2,838,000	2,842,000	△ 4,000
雑 収 入	22,138,000	2,092,000	20,046,000
前受金収入	52,600,000	64,500,000	△ 11,900,000
その他の収入	175,928,000	226,527,193	△ 50,599,193
資金収入調整勘定	△ 81,187,000	△ 59,235,000	△ 21,952,000
前年度繰越支払資金	175,329,586	143,079,985	32,249,601
収入の部合計	1,097,912,186	1,119,941,738	△ 22,029,552

■支出の部

人件費支出	481,028,000	454,512,000	26,516,000
教育研究経費支出	123,913,560	113,817,317	10,096,243
管理経費支出	20,415,060	20,837,060	△ 422,000
借入金等利息支出	31,000,000	29,000,000	2,000,000
借入金等返済支出	93,016,000	93,016,000	0
施設関係支出	2,300,000	2,970,000	△ 670,000
資産運用支出	166,200	162,200	4,000
その他の支出	190,140,000	236,328,682	△ 46,188,682
〔予備費〕	10,000,000	10,000,000	0
資金支出調整勘定	△ 39,860,000	△ 16,000,000	△ 23,860,000
次年度繰越支払資金	185,793,366	175,329,586	10,463,780
支出の部合計	1,097,912,186	1,119,941,738	△ 22,029,552

消費収支予算書 (当初)

2012年4月1日から2013年3月31日まで

■収入の部 (単位 円)			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	425,309,200	415,125,700	10,183,500
手 数 料	16,450,000	16,828,000	△ 378,000
寄 付 金	30,830,000	31,211,000	△ 381,000
補 助 金	280,096,400	277,991,860	2,104,540
国庫補助金	1,249,000	1,349,000	△ 100,000
地方公共団体補助金	278,847,400	276,642,860	2,204,540
資産運用収入	2,838,000	2,842,000	△ 4,000
雑 収 入	800,000	1,420,000	△ 620,000
帰属 収入 合計	756,323,600	745,418,560	10,905,040
基本金組入額合計	△ 70,000,000	△ 75,000,000	5,000,000
消費収入の部合計	686,323,600	670,418,560	15,905,040

■支出の部

人 件 費	459,490,000	453,840,000	5,650,000
教育研究経費	210,413,560	200,829,685	9,583,875
管理経費	23,115,060	23,529,126	△ 414,066
借入金等利息	31,000,000	29,000,000	2,000,000
徴収不能額	593,205	148,605	444,600
〔予備費〕	10,000,000	10,000,000	0
消費支出の部合計	734,611,825	717,347,416	17,264,409
当年度消費支出超過額	△ 48,288,225	△ 46,928,856	
前年度繰越消費支出超過額	△ 1,105,289,877	△ 1,058,361,021	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,153,578,102	△ 1,105,289,877	

2011年度資金収支および消費収支決算、2012年度資金収支および消費収支予算（当初）について皆様にご報告いたします。記載いたしましたものは5月28日の理事会で審議、承認されたものです。ご照覧いただき、ご質問、ご意見等ございましたら、学校事務にご連絡ください。

理事長 北 垣 俊 一